

《 令和元年6月定例会より、質問方法は一問一答方式のみとなりました。 》



横田 誠議員(新風)

災害時の
安心・安全対策について

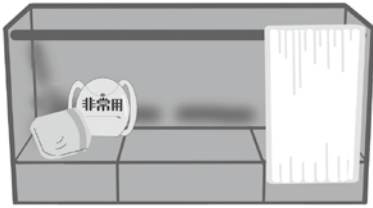
Q 内閣府の避難所運営ガイドラインに簡易ベッドの確保を目指すという一言が明記され、避難所生活の改善が図られようとしている。災害備蓄品として段ボールベッドを整備することについて市の見解を伺いたい。

A 行政経営部長

災害備蓄品として段ボール製の間仕切りパネルを現在備蓄しているところですが、段ボールベッドも避難所における有用な資機材の一つであると考えています。段ボールベッドは、備蓄スペースの確保や搬入搬出などを考慮したうえで、必要なときに必要な量を賄えるように災害協定を考えています。現在、関係する事業所と平成30年3月より協議を進めているところですが、

その他の質問

☆学校給食について



久保 貴洋議員(蒼生会)

佐野インランドポート
について

Q 佐野インランドポートの稼働状況を伺いたい。

A 総合政策部長

平成30年度中のコンテナ総取扱量は、輸入が2,983TEU、輸出が2,219TEUで合計5,202TEUであり、平成30年度の想定貨物量4,094TEUを超えました。また、輸出コンテナのうち※コンテナラウンドユースとしてマッチングできたコンテナは1,684TEUで、率に換算すると75.9%でした。

今年4月のコンテナ取扱量は600TEUを超え、増加傾向にある現状を維持できれば、今年度のコンテナ取扱量の目標値約8,000TEUの達成が可能と考えます。現在は県内外合わせて約150の企業が利用しています。今後はコンテナ取扱量増加を目指し、物流効率化と環境負荷低減並びに企業誘致を促していきます。

その他の質問

☆観光誘客について
☆有害鳥獣被害対策について

※コンテナラウンドユース…輸入で生じた空のコンテナを港に戻さず、別の輸出に転用することです。無駄な空コンテナの輸送が削減され、効率的な輸送が行えるようになります。



菅原 達議員(公明党議員会)

多様な人材が活躍するための学びの場の提供
について

Q 様々な事情により義務教育課程を最後まで習得できなかった方たちに学べる場を提供することで、ひきこもりから抜け出すきっかけや、職場で活躍する人材に成長する機会を与える事ができ、しかも、かつて教育現場で活躍した方に教鞭をとってもらうことで、新たな人材の活躍の場にもなると考える。基本は生涯学習としての学びの場の提供であるが、その根底に、様々な事情により社会で埋もれていた人材が活躍できるような支援につながることを主眼に置いた福祉的な取り組みとしていただきたいが、いかがか。

A 教育総務部長

この問題は、大変重要な課題であると認識し、社会で対応する公的な課題として取り組む必要があると考えており、今後研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆防災士と自主防災組織が連携したコミュニティづくりについて
☆地域包括支援センターの体制強化について
☆地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について

